ビーチボールルール（菊川市ローカルルール）

≪主なルール≫

◆コート：バドミントンのダブルスコート　※センターライン（ネットの真下）を引く

◆ネットの高さ：バドミントンネット　高さは1ｍ80ｃｍ

◆ボール：白と緑のビニール製のもの　直径は27cm±１cm　重さは70ｇ±２ｇ

◆チーム：１チーム５人以上　コート内は常時４人

◆ゲームの勝敗：①ラリーポイント制、２セット先取（９点）で勝者とする（各セット間は１分間）

　　　　　　　　②セット数が1-1の場合は３セット目を行う（５点でコートチェンジ）

　　　　　　　　　※コートチェンジに気づかなかった場合は、気づいた時点で交代、得点はそのまま

　　　　　　　　　※コートは１セットごと代わり、３セット目は改めてトスを行う

　　　　　　　　③点数が8-8の場合は、デュースとなり、２点勝ち越したチームがそのセットの勝者となる

　　　　　　　　　※上限は12点

≪競技の始め方≫

① サイドラインに整列する

② 試合前挨拶（ネット前にて選手全員で握手をする）

③ 両主将のトスを行う（勝者は「サーブ権」か「コート」のいずれかを選択し、敗者は選択されなかった権利を行使する）

④ 試合開始

≪サービス≫

・ 前衛右の位置にいる選手から始める

★サービスは１本とするが、連続ポイントをした場合は３本まで行うことができる

　　★続いている場合は、ローテーションを行い、次のサーバーと交代をする

　　★サーバーはコート外に出て、コート外の選手がコートの「後衛右」に入る

・ アンダーハンドで行う

* 初めにサービス権がないチームは、１点目を取ってもローテーションはせず、前衛右の選手がサービスを打つ。その後、サービス権を取った時に交代する。
* ２セット目は１セット目にサービス権がなかったチームが行う
* ３セット目は改めて両主将のトスを行う
* ３セット目のコートチェンジ後にローテーションを行う場合は、コートチェンジ後にサーバーが交代する

【サービスの反則】

サービスエリア　→

（黒枠）

* ネットイン
* サービスが、「相手コートのサービスライン後方」に入らなかった場合

※サービスライン後方：右図斜線部、サービスエリア：黒枠

* サービスエリアの線を踏む、踏み越える

サービスライン後方　→

（斜線部）

* サービスを打つ時、両足の平が全て床についていない

≪ポジション≫

* 両チーム、前衛２人、後衛２人とする
* サービス時は前後左右、正しい場所で静止していなければならない（サーバー以外）

ただし、サービスが打たれた後はどのポジションに移動しても良い

* サービス権が移行してきたら時計回りにローテーションをする

前衛右の選手はコート外に出て、交代してコートは入った選手は、後衛右に入る

* セットごとのポジションは自由
* ３セット目のコートチェンジの後は、コートチェンジ前と同じ場所に入る

≪レシーブ≫

* ３回以内に相手コートに返球する

ただし、相手のサービスは１回で返球してはいけない（サービスブロック）

* ネットにボールが触れた時は、４回触ることができ、その時は同じ選手が１回のみ続けてボールに触れる

ことができる

* ２人が同時にボールに触れた時は「１回」と数え、続けて同じ選手がボールに触れても良い
* １人が続けてボールに触れてはいけない
* レシーブは、腰から上の部分で行う

≪アタック・ブロック≫

* ポジションに関係なく誰でも行うことができる
* ブロックのタッチは「１回」と数える

≪タイムアウト≫

* １セット１回で、時間は30秒

≪その他≫

* ボールの中心がライン上に掛かっていれば「イン」、外れていれば「アウト」
* センターライン（ネットの下のライン）を踏んでもよいが、踏み越えてはいけない（パッシング）
* タッチネット、オーバーネットは反則
* ボールがポールに触れた場合は、アウトとする